



学校だより

10月号 令和6年9月30日発行
江戸川区立下小岩小学校
校長 鶴田麗子

下小岩小学校 学校ホームページURL <https://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310306>

勉強の秋、読書の秋

校長 鶴田麗子

朝晩はすっかり過ごしやすくなりました。早いもので今年度も後半に入ります。

夏休み明けに、PTA主催の「下小岩フェス」が行われました。すくすくスクールの協力もあり、昨年同様に、ストラックアウト、射的、スライム釣りなど様々なゲームコーナーが開かれ、たくさんのお子様達が参加していました。1日限定ストリートピアノも予想以上に稼働し、会場の雰囲気盛り上げていました。持参の袋を景品でぱんぱんに膨らませ満足そうな子、友達と楽しく過ごす子など、大人も子どもも楽しい時間を共有することができました。PTA会長さんはじめ本部役員の皆様、お手伝いいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

さて、4月に実施した全国学力学習状況調査（6年生）の結果についてご報告します。国語の平均正答率は65%で、全国67.7%にわずかに届きませんでした。算数の平均正答率は67%で、全国63.4%を上回り、東京都68%とほぼ同程度の好結果でした。

算数については、昨年度から区の学力向上プロジェクトの取組に参加し、基礎・基本の定着を図ってきました。学習到達度テストの結果により個人カルテを作成し、自分に適した問題に取り組むことで、苦手な分野の克服を進めました。また「計算ドリル」に替え「アイテム算数」という新たな形式のテキストを採用し、基礎・基本から発展的な内容の問題にもチャレンジできるようにしました。さらに区独自で作成した「江戸川区算数授業スタンダード」に沿って授業を改善し、子ども達が、わかる！できる！楽しい！授業の実現に努めてきました。きっかけは区の施策ではありましたが、子ども達の姿に手ごたえを感じ、教職員の学力向上への意識も確実に高まってきています。

次は国語の改善です。まずは新聞記事を題材にした教材「よむYOMUワークシート」等を有効に活用し、文章を理解する力、情報を活用する力を高めていきます。3年生以上が週1回取り組みます。家庭学習で持ち帰るので、ぜひご家庭でもご覧ください。

先日、低学年を担当することが多い教員が次のように話していました。幼少期から動画に親しみ、文字に触れる機会が少ないまま入学する子が増えており、文章を読んだり、書いたりすることに苦手意識をもつ傾向が年々顕著になってきていると。

低学年のうちから、文字に触れる機会を意図的に増やすことの必要性を改めて感じます。秋は読書の季節でもあります。お子さんと一緒に秋の夜長、読書を楽しんでみるのいかがでしょうか。

